

平成30年

第6回仙北市議会臨時会

市 政 報 告

仙 北 市

平成30年第6回仙北市議会臨時会 市政報告

平成30年第6回仙北市議会臨時会の開会にあたり、主要事項についてご報告します。

はじめに、一般会計補正予算(第6号)についてです。

補正額は1億2,660万9千円で、これに既定予算を加えると、補正後の額は202億3,422万2千円となります。補正事業は、総合給食センター建設事業費です。継続費は設定、地方債補正は変更です。

それでは、各部局等の主要事項並びに諸般の状況を報告します。

【総務部】

◇片山さつき内閣府特命担当大臣との意見交換会への参加について

10月10日、片山さつき内閣府特命担当大臣と国家戦略特区諮問会議民間議員、特区区域関係自治体との意見交換会に出席しました。この意見交換会は、新大臣の就任にあわせ、国家戦略特区の今後の進め方について協議する場でした。

私からは、現状で国家戦略特区にマイナスのイメージがある中で、「まずは国民と国家戦略特区の信頼関係を修復することが重要。今後も規制緩和による取り組みが、地方の課題解決の成長エンジンとして役割を果たすべく、これまで以上の挑戦が大切だ」と、発言させていただきました。

仙北市の特区事業は、やっと目に見えるようになってきました。今後も市民の皆様のご理解ご協力をいただきながら、市民の課題解決につながるよう努力を重ねます。

◇仙北市SDGs未来都市宣言及びミニシンポジウムの開催について

11月24日、午後1時から角館交流センターを会場に、ミニシンポジウ

ムを開催し、仙北市SDGs未来都市宣言を行います。

これは、市内小中学校児童生徒をはじめ、市民の皆様にSDGsについて理解を深めていただくための開催とし、当日は、吉本興業所属のお笑い芸人によるSDGsをテーマにしたライブや、17項目のゴールに関連する行政や地元企業の活動紹介など、全市をあげた取り組みの普及と推進を図りたいと考えています。

議員の皆様のご参加もよろしく申し上げます。

◇クニマスのへい死について

6月、8月に続き、10月11日にクニマスがへい死しました。

原因は9月初めから婚姻色が発現していたことから、成熟に伴う衰弱と考えられます。

これで秋田県内のクニマスは、県の内水面試験池に1尾、クニマス未来館に2尾の計3尾となりました。

補充等のクニマスの確保については、山梨県と秋田県で協議を進めていて、今後の貸与についても一定の見通しがついているとのことです。未来館の展示に支障が出ることがないように、市としても県を通じ山梨県側をお願いしていきます。

◇戊辰戦争150周年記念事業について

11月25日、戊辰戦争150周年を記念して大村市の皆様を招待しての記念事業を開催します。この事業は、大村藩の浜田謹吾少年を主人公に、あきた芸術村が制作したミュージカル「俺(おい)はサムライ・ドラマー！」の公演開始に合わせたものとなっています。

議員の皆様にもぜひ鑑賞いただき、大村市の皆様と親睦を深めていただければと思います。

◇台風24号、25号関連の対応について

はじめに台風24号についてです。9月30日深夜から翌10月1日にかけて台風24号の影響が大きくなると予想されたことから、仙北市では30

日15時に災害連絡室を設置し、市内巡回を行うとともに、登録メール、防災行政無線、災害情報システムにより台風接近と市内8箇所自主避難所の開設を市民へ広報しました。また、JR角館駅からの連絡で、列車運休についても併せてお知らせしています。19時49分に暴風警報が、翌1日の朝4時32分に大雨警報が市内に発令されましたが、市内に大きな被害の報告はありませんでした。

次に台風25号関連についてです。10月6日21時22分、仙北市に暴風警報が発令されました。前日5日から情報収集を開始し、大きな影響は10月7日早朝と予想し、状況に応じ自主避難所を開設する準備を行いました。7日朝5時から危機管理監と総合防災課職員が情報分析と市内巡回を行い、8時に災害連絡室を設置しましたが、午前中に落ち着くとの見通しから、避難所の開設には至りませんでした。

市内の被害は、倒木が3件、ビニールハウスのビニール剥離1棟が報告され、また、翌8日には西木町桧木内で空き家の屋根が剥離しているのを確認しています。

◇火災について

10月6日午後、角館町菌田で作業場を全焼する火災がありました。所有者は外出中の火災で怪我人はありませんでした。原因は調査中です。

また、10月10日朝、角館町雲然の市営田中住宅で火災が発生しました。この住宅に住む方1人の死亡が確認されています。心よりご冥福をお祈りします。火災の原因は調査中です。

【観光商工部】

◇角館祭りのやま行事について

9月7日から9日まで「角館祭りのやま行事」が開催され、各丁内から17台の曳山が繰り出しました。

今年は3日間とも雨模様で、お祭り期間中の人出は、昨年と比べ36,000人減の145,000人です。この減少要因は、天候に恵まれなかった

ことから、観光客の出足が伸びなかったものと考えています。

また、8日の観光やまぶっつけは、「やま」の曳き回しの関係で、予定していた7箇所のうち3箇所が実施できず、楽しみにしていた皆様にご迷惑をおかけする事態が発生しました。今後、観光やまぶっつけのあり方について、実行委員会等で検討することにしていきます。

◇新・秋田の行事 in 仙北 2018について

10月6日、県内外の民俗芸能や祭りが一同に会した「新・秋田の行事 in 仙北 2018」が、角館町の中心部を主会場に開催されました。

内町エリアでは、特設ステージで県内外の9団体が出演し、踊りなどが披露されました。外町エリアでは、ユネスコの無形文化遺産「山・鉾・屋台行事」に登録されている県内3行事が共演したほか、竿灯の演舞もあり、多くの観光客を魅了しました。

イベントは6日、7日の両日開催を予定していましたが、台風25号の影響で悪天候が予想されたことから、6日のみの実施となりました。入り込み客数はおよそ5万人でした。

◇北東北観光連携にかかると懇談会について

10月4日、岩手県八幡平市の安比高原で北東北観光連携にかかると懇談会が開催され、倉橋副市長が出席しました。

これは、八幡平市長の呼びかけで、八幡平市や弘前市、また、北上市、大館市、仙北市の5市が参加し、広域での観光振興、誘客推進に向けて意見交換をしました。

懇談会では、今後、合同で観光プロモーションに取り組むことや物産展の開催などを検討することにしたほか、当日は、安比高原スキー場の一角で、「安比高原千本桜プロジェクト」による桜植樹のセレモニーも開催され、五つの市が協力して桜をメインとした北東北を周遊する誘客にも取り組むこととしました。

以上、主要事項並びに諸般の報告を申し上げます。本定例会に提

案している案件は、予算関係1件です。

慎重審議の上、ご可決を賜りますようお願い申し上げます、市政報告とします。